



▲明るく、元気のいい盆踊りにたくさんの笑顔が輝きました



▲芸能やアート、スポーツなどで交流が深まった慶野松原海水浴場



▲慶野松原の海上から打ち上げられた花火

あふれる笑顔、ひろがる交流の輪 初めでの市民まつり



▲大綱曳き会場で獅子舞も登場



▲ヨーヨー釣り

ふくらの福良湾で

福良湾海上花火大会が8月13日～15日、福良湾周辺で開催され、盆踊り大会やうずしお朝市、大綱曳き、花火大会などが行われました。

13日と15日に行われた盆踊りでは、19組の阿波踊りやよさこい踊りのグループらが参加。元気いっぱいに汗を輝かせながら自慢の踊りを披露し、福良の街中をまわりました。

14日には早朝から南淡図書館駐車場でうずしお朝市が開かれ、新鮮な野菜や果物、海産物などのお店が立ち並び、たくさんの買い物客らでにぎわいました。午後2時からは、大綱曳きが行われ、化粧まわし姿の力自慢を先頭に、東西に分かれて綱を曳き合いました。

夜には花火大会が行われました。早くから浴衣姿や団扇を持った来客が訪れ、福良湾を取り囲みました。近畿最大級2尺玉3発を含む2,500発が海上から打ち上げられ、大きな歓声に包まれました。



▲うずしお朝市では新鮮な野菜などが販売されました



▲大綱曳きの前に踊られた「オーガイ節」



▲福良湾に打ち上げられた花火

けいの慶野松原で

慶野松原花火大会が7月30日、慶野松原海水浴場周辺で開催され、全国サンドアートコンテストやサッカーナイン、花火大会など多彩なイベントが繰り広げられました。

サンドアートコンテストでは、参加した18組のグループが砂山をスコップで削り、ヤドカリや人魚などの作品を完成させ、見守る海水浴客らを楽しませていました（コンテストの結果は13ページに掲載）。

また、9つの的を狙いボールを蹴りこむサッカーナインでは、たくさんの子どもたちが参加。一番多くの的を当てた優勝者には、サッカー日本代表・加地亮選手が着た代表ユニホームがプレゼントされました。

夕暮れ時から始まった花火大会オープニングイベントでは、よさこいソーランが会場を踊りまわり、南あわじ太鼓衆「豊」が和太鼓演奏で観客を魅了。演奏が終わると同時に会場の明かりが消え、次々と花火が打ち上げられました。この日、夜空を3,300発の花火が彩り、砂浜は満面の笑みの観客でにぎわいました。



▲楽しい野外ステージに観客から拍手が送られました



▲次の日、ボランティアの皆さんによるごみ拾い。ありがとうございました

▼的にうまく当たるかな？（サッカーナイン）



▲優勝者には加地選手のサイン入りユニホームが贈られました